

# 安心・安全の大きな虹



執筆者

西消防団押部谷支団 支団本部

副支団長 寺口 一英

山口征基支団長が率いる、西消防団押部谷支団の管轄地域は、西区の北東に位置し、明石川に沿って開けた、緑豊かな自然環境に恵まれた地域です。瀬戸内の温暖な気候に恵まれているため、稲作を中心に、私の生業でもあるナシ農園や観光農園（イチゴ狩り・ワイン用ブドウの栽培）などの農業が盛んです。しかし、この押部谷町も、昭和47年ごろから始まったニュータウン開発や、近年の「神戸複合産業団地」の開発、神戸淡路鳴門自動車道の神戸西インターチェンジの設置などにより、人口や車の交通量が急増し、町並みも産業

も様変わりしてきています。

このような変化に対応するため、押部谷支団では、新たに組織化された自治会や防災福祉コミュニティが実施する防災訓練、救急講習会などには、防災リーダーとして積極的に参加し、簡易担架搬送、消火器取り扱いといった訓練指導などを行っています。また、阪神・淡路大震災で重要視された、住民同士のコミュニケーションションを保つために、運動会や秋祭りにも参加して、新・旧住民が触れ合えるよう、配慮しています。その取り組みの一つとして、昨年の9月2日に開催された「押部谷明石川まつり（押部谷明石川愛護協議会開催）」に、団員60名を率いて参加しました。当日は、大変多くの参加者があり、特に「魚のつかみ取り大会」は子どもたちにも大好評で、時を忘れてウナギや魚を捕まえてい

る姿は、ほほ笑ましく思えました。祭りの最後を飾る小型動力ポンプの取り扱い訓練を兼ねた放水が始まると、明石川上空の秋空に、美しい虹が現れました。その美しい虹を堤防から見ていた人々からは、大きな歓声と拍手を頂きました。

訓練や現場活動では何一つ心配のない押部谷支団ですが、新入団員の確保などに関しては、問題を抱えています。しかし、今後も地域防災リーダーとしての責任と自負を忘れず、防火防災のために頑張っていくつもりです。明石川の上空に架かった虹に負けないような「安心・安全の虹」を、押部谷町の空に架け、災害から守っていきたいと思います。

